

備考欄 (どのような方法で収入額を見込んだかなどを記入ください。)

(例1) 令和2年1月から5月までは実績とし、令和2年6月から12月までは令和2年の月別収入実績の平均額として収入額と見込みました。

(例2) 令和2年1月から5月までは実績とし、令和2年6月から12月までは令和元年の月別収入実績の60%として収入額を見込みました。

収入の見込額を計算した方法を記入してください。見込方法に決まりはありませんが、合理的・客観的な方法により見通しを立ててください。

添付書類

ア. 事業、不動産、山林収入の減少の場合

(令和元年中の収入額・所得額がわかるもの)

・所得税確定申告書、住民税申告書の写し 等
・収支内訳書、青色申告決算書の写し 等

(令和2年中の収入実績額がわかるもの)

・月ごとにまとめた帳簿類や通帳の写し等

イ. 給与収入の減少の場合

(令和元年分の収入額がわかるもの)

・令和元年分給与所得の源泉徴収票等

(令和2年中の収入実績額がわかるもの)

・令和2年1月～直近までの給与明細等 (賞与を含む)

ウ. 事業の廃止、失業の場合

(事業を廃止、失業したことがわかるもの)

・廃業届、離職票等

エ. 保険金、損害賠償等により補填されるべき金額がある場合

・その補填されるべき金額を証明するもの

オ. その他必要と認められるもの